

子ども向けメディアアートワークショップを開催します！
～アーティストやデザイナーの生徒になって新しい表現に挑戦しよう！～

千葉市では、アーティストやデザイナーなどのクリエイターが講師となり、様々なメディアやテクノロジーを使った新しい表現に挑戦する「令和5年度体験・創造ワークショップ事業」を開催しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

平成26年度から開始した千葉市メディア芸術振興事業では、若者に関心の高いメディア芸術の振興を図ることを目的に、本市の様々な地域資源の魅力をメディア芸術の力で発掘するとともに、子ども向けの体験イベントや若者を対象としたワークショップ等を実施しています。

今年度は、アーティストやデザイナーといったクリエイターが講師となり、最新技術やアプリ、VRを使って創造力を膨らませて、新しい表現に挑戦します。

2 イベント概要（別添チラシ参照）

(1) 開催日

令和5年10月9日（月・祝）

午前の部 10:30～13:00

午後の部 14:00～16:30

※各授業、同じ内容で午前と午後の2回開催します。

(2) 会場

千葉市生涯学習センター 研修室1～3（中央区弁天3-7-7）

(3) 対象・定員

市内在住の小学校3～6年生 各回20人（参加者募集済）

(4) 参加費

無料

(5) 内容

ア 授業1

「未来の道具を考えよう」

講師 いそだ かずお 磯田 和生 先生

（大日本印刷（株）ヒューマン・エンジニアリング・ラボ主席研究員）

絵画を様々な視点から観ることができる最新技術「みどころキューブ」を体験。スウェーデン国立美術館の作品に描かれた昔のくらしから気づきを得て、未来のくらしを想像し、あったらいいなと思う道具を描いてみよう。

イ 授業 2

「コマ撮りアニメーションを作ろう」

講師 垣内 由加利 先生（ストップモーション・アニメーター）

無料のスマホアプリを使ってアニメーションを作ってみます。前半はコマ撮りの仕組みを知ったあと、フィギュアを使ったコマ撮りを体験します。後半はカメラの前で実際に身体を動かし、自分の動きがアニメーションになることを体験します。

ウ 授業 3

「恐竜展を企画しよう」

講師 宮澤 悠大 先生（恐竜コンサルタント）

ワクワクする博物館の恐竜展はどんなふうにして創り上げているのだろうか？ペーパークラフトで作る恐竜を使い、レイアウトした会場を実物大にVRで再現していきます。恐竜展を通じて新しい視点を学び、何かを創り上げていく楽しさを学びます。

(6) 主催

千葉市

3 取材について

取材を希望される方は、10月6日（金）15：00までに会社名、申請者名、連絡先を記載して、文化振興課へメール（bunka.CIL@city.chiba.lg.jp）でご連絡ください。

また、取材の際は腕章等を着用ください。

<参考>

過去の開催実績

1 開催回数

平成28年度から開始し、これまで計6回開催。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止。

2 内容

「書写の道具でつくろう動物パラパラアニメ」や「紙の活字と光るインキの不思議ラボ」など年度ごとにクリエイターによるワークショップを開催。

3 参加者数

計1,401人